

8-4-14 環境専門委員会

1. 主な活動の記録

平成30年度は、計6回の委員会を開催（隔月）した。また、今年度の環境セミナーは、「環境アセスメントデータベース（EADAS）の役割と活用方法について」と題して、環境省から講師を招き、10/19に仙台会場、10/26に大阪会場にて、環境アセスメントデータベース（EADAS）の役割と活用方法についての講演及びEADAS活用の実演・演習を実施した。

そのほかに委員会では、

- ① 技術委員会報告事項及び環境専門委員会連絡・依頼事項への対応報告
- ② RCCM更新講習資料（建設環境）の追加更新、演習問題の修正
- ③ 交通・都市インフラWG、河川系WGによる持ち回りで委員相互の勉強会の実施
- ④ 横断領域WGによる環境省、国土交通省及び経産省等の公開環境関連情報の整理
- ⑤ 公共工事の環境負荷低減施策推進委員会への委員輩出

等を行ってきた。

また、今年度は、「日本生態学会神戸大会」キャリア支援相談ブースへの出展について、同日本生態学会の要請で、環境分野の明日を担う技術者の疑問や悩みに答え、将来、我々の仲間に迎えられるよう、必要なアドバイス等を行った。

環境セミナーでは、仙台市と大阪市の二会場で環境省から講師に、環境省大臣官房環境影響評価課の會田義明専門官を迎えて、EADAS活用の実演・演習により、活用方法を習得して頂く機会とするとともに、質疑応答と意見交換の場を設け、EADAS活用への要望など講師との意見交換を行った。

EADASは、平成24年度から平成28年度に実施した「情報整備モデル事業」の成果を中心に収録したデータベースとして構築された。情報整備モデル事業とは、23道府県の85地区をモデル地区として選定し、アセスに準じた環境調査が実施さ

れたものである。

そのほかにも、事業計画や地域特性に関する国や地方公共団体等が提供している公表情報を広く収集し、EADASを通じて一元的に把握できることを目指して、GISによる情報提供等を進めているものである。また、これらの情報を一般に公表することにより、アセスの手続きに関与する地方公共団体、有識者、市民、NPO等に広く共有できるようになり、コミュニケーションの充実、理解の促進に貢献できるものと期待されている。

なお、環境セミナーの詳細については、当日の委員報告を建設コンサルタンツ協会ホームページから参照できる。

（環境専門委員会委員長 石川 賢一）